

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	美術活動支援事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	05	01	05	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市美術家協会及び一般市民	意図	市展開催事業を通し、市民へ美術文化の普及と振興を図る。
事業内容	流山市美術家協会が主催する流山市展に対し、活動費の一部を補助する。			
事業開始から現在までの状況変化	本事業は、平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	市展の出品数（絵画）	134	128	114	
②	市展の出品数（工芸・彫刻）	18	25	19	点	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成30年度の展覧数は前年度と比較すると若干減少している。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	497,300	494,240	491,840
事業費(b)(円)	360,000	360,000	360,000
うち一般財源	360,000	360,000	360,000
職員給与費(c)(円)	137,300	134,240	131,840
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	美術家協会への活動支援を継続する。	③取組における課題(Check)	出品者の拡大と、観覧者の増加を図る。
②H30に実施した取組(Do)	多くの市民が絵画や工芸・彫刻を展覧し、プロと市民の作品を一堂に鑑賞できる場を広く公開した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	同事業への活動支援を継続し、市民への周知に努める。